

2021年度



(株)小島組

安全な国土の形成を礎に  
自然豊かなこの地域を次世代へ

# 環境経営レポート

対象期間 : 令和3年1月～令和3年12月

発行日 : 令和4年2月28日<第8版>



環境経営レポート部門

## 目 次

1.	組織の概要	P, 1
2.	対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	P, 3
3.	環境経営方針	P, 4
4.	環境管理組織体制	P, 5
5.	環境経営目標	P, 6
6.	環境経営計画	P, 8
7.	環境経営目標の実績	P, 9
	(1)1年間の実績及び目標達成状況	
	(2)年毎のCO <sub>2</sub> 排出量	
8.	環境経営計画の取組結果とその評価	P, 12
9.	次年度の取組内容	P, 14
	(1)環境経営計画	
	(2)環境経営目標	
10.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P, 16
11.	代表者による全体評価と見直し・指示の結果	P, 18
12.	環境活動等	P, 19
13.	その他	P, 24
	(1)SDGsって何？	
	(2)SDGsを意識した取り組みについて	



## 1. 組織の概要

- 事業所名 株式会社 小島組
- 代表者名 代表取締役社長 小島 幸年
- 所在地
- |                                 |           |        |           |
|---------------------------------|-----------|--------|-----------|
| <input type="checkbox"/> 本社・倉庫① | 〒788-0784 | 高知県宿毛市 | 山奈町山田722  |
| <input type="checkbox"/> 車両置場   |           | 〃      | 山奈町山田2157 |
| <input type="checkbox"/> 倉庫②    |           | 〃      | 山奈町山田3801 |
| <input type="checkbox"/> 倉庫③    | 〒788-0038 | 〃      | 二ノ宮2058-1 |
- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
- |         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 環境管理責任者 | 小島 史園                            |
| 担当者     | 関本 笑弥 ・ 松原 和也                    |
| 連絡先     | TEL (0880) 66-2355               |
|         | FAX (0880) 66-0458               |
|         | E-mail ojimagm1@mb.gallery.ne.jp |
- 事業活動の内容
- 建設業 (主に土木工事業の工事を行っています。)
- 建設業許可
- |        |  |
|--------|--|
| 許可番号   | 高知県知事 許可 (特 - 29) 第10068号                              |
| 許可年月日  | 平成30年 1月10日  |
| 建設業の種類 | 土木工事業、石工事業、しゅんせつ工事業<br>とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業<br>解体工事業 |
| 許可番号   | 高知県知事 許可 (般 - 29) 第10068号                              |
| 許可年月日  | 平成30年 1月10日  |
| 建設業の種類 | 管工事業   |
- 産業廃棄物収集運搬業許可【自社施工分対象】
- |       |  |
|-------|--|
| 許可番号  | 高知県知事許可 第 03900200849 号  |
| 許可年月日 | 平成30年 4月 2日  |
| 事業区分  | 収集・運搬 (積替え又は保管を除く。)  |
| 廃棄物種類 | 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)<br>木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、<br>コンクリートくず及び<br>陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)、<br>がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) |

## ■ 事業規模

設立年月日	昭和 54 年 5 月 21 日
資本金	2,100万円
令和3年度完成工事高	501,000千円 (令和3年1月～令和3年12月)
従業員数	26人 (令和4年 1 月 5日現在)
延床面積	
事業所敷地面積	
本社	945m <sup>2</sup>
車両置場	568m <sup>2</sup>
倉庫	2,321m <sup>2</sup>
事業所延床面積	
本社	189m <sup>2</sup>
車両置場	224m <sup>2</sup>
倉庫	794m <sup>2</sup>

## ■ 会計年度

1月 ～ 12月



(株)小島組 本社 事務所  
高知県宿毛市

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### ■ 対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社 小島組

全社（全組織、全活動）

#### ●対象事業所

本社・倉庫①	（ 253㎡）	〒788-0784	高知県宿毛市	山奈町山田722
車両置場	（ 224㎡）		〃	山奈町山田2157
倉庫②	（ 442㎡）		〃	山奈町山田3801
倉庫③	（ 288㎡）	〒788-0038	〃	二ノ宮2058-1

### ■ レポートの対象期間

令和3年1月 ～ 令和3年12月

### ■ 環境経営レポートの発行日

令和4年2月28日

### ■ 次回環境経営レポートの発行予定日

令和5年(2023年)2月 予定



高知県宿毛市大島  
大島林地荒廃防止施設災害復旧工事  
当社施工

### ■ 作成責任者

環境管理責任者

小島 史園

環境事務局

関本 笑弥

松原 和也

### 3. 環境経営方針

#### ■ 環境経営理念

株式会社 小島組は、安全な国土の形成を礎に自然豊かなこの地域を次世代へ継承できるよう、事業活動をとおして地域の環境保全及び資源有効利用に積極的に取り組み、人と自然が共生する社会の創造と、環境への負荷の少ない低炭素で持続可能な循環型社会の実現を目指し、環境負荷を軽減し、継続的改善による環境経営を推進していきます。



#### ■ 環境経営方針

I. 事業活動に伴う環境への負荷を削減していくため、以下の項目に取り組みます。

1. 電力使用量の削減によるCO<sub>2</sub>の排出量を削減します。  
建設機械、車両等の燃料使用量の削減によるCO<sub>2</sub>の排出量を削減します。
2. 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルを促進します。
3. 節水活動により水使用量を削減します。
4. グリーン購入に適合した物品の購入を促進します。
5. 環境に配慮した工事を推進し、また環境に優しい資材の使用を促進します。
6. 地域社会との連携を図り、ロードボランティア活動など、社会貢献活動、環境保全活動を積極的に実施し、地球環境の保全に取り組みます。
7. 生物多様性の保全を推進します。
8. 継続的にSDGsが掲げる目標実現のための活動に取り組みます

II. 事業活動において環境に関する法令及び条例等を遵守します。

III. 環境経営を継続的なものとするべく、社内教育をとおして環境経営方針を全従業員に周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、環境情報について社外にも公表します。



改定日 令和2年 1月 7日

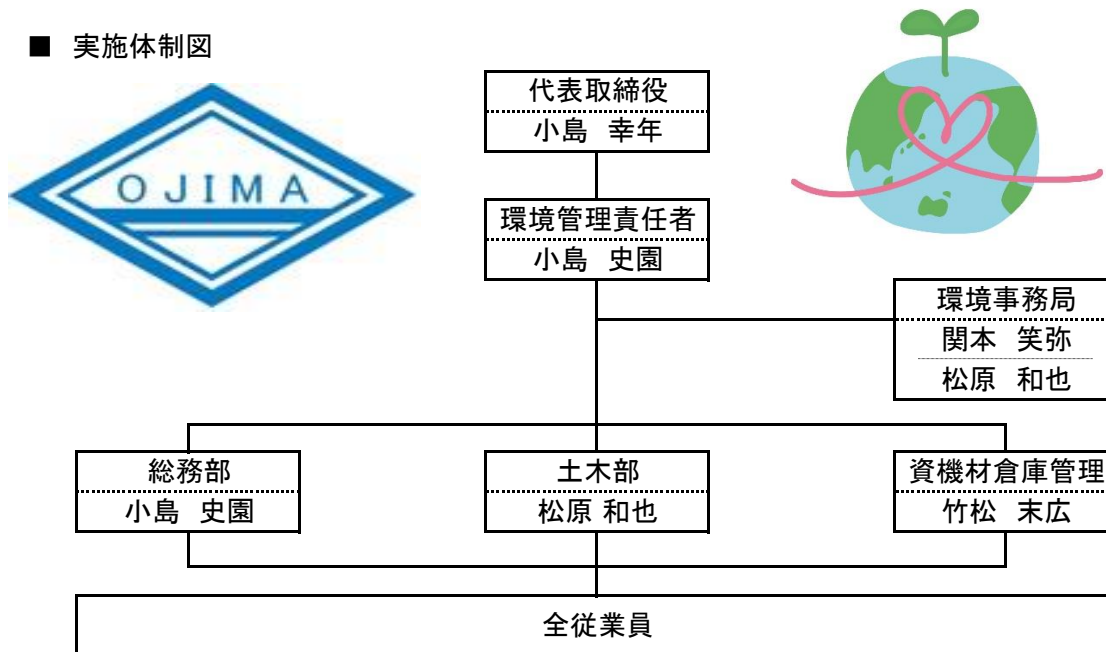
株式会社 小島組

代表取締役社長

小島幸年

## 4. 環境管理組織体制

### ■ 実施体制図



### ■ 環境管理システム 役割・責任・権限表

担当者	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>エコアクション21実施に必要なインフラの整備</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>環境経営方針の制定、改訂及び全社員への周知</li> <li>全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書の承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施及び運用管理</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組状況・環境経営目標の達成状況の評価</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ及び遵守状況の確認</li> <li>環境経営レポートの作成・公表</li> <li>全従業員に対する具体的な活動の周知及び教育訓練の実施</li> <li>各種データの取りまとめ、取組のチェック</li> <li>各種文書・記録の作成管理</li> <li>グリーン購入の推進</li> <li>外部とのコミュニケーションの窓口</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門に関する環境活動の実施状況の確認、記録</li> <li>自部門の問題点の把握と是正・予防処置の実施</li> <li>自部門の手順書を作成し文書化して運用</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境活動への自主的、積極的な参加</li> <li>関連法規、規則の遵守</li> </ul>

## 5. 環境経営目標

### ■ 1年間の目標

【全社】

項目	単位	基準値	1年間の目標		削減率 %
			令和3年1月～ 2月	令和3年1 月～	
電力使用量	kWh	21,871	20,996		4
化石燃料使用量					
軽油	ℓ	40,014	38,414		4
ガソリン	ℓ	27,247	26,157		4
灯油	ℓ	424	407		4
CO <sub>2</sub> 排出量	総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	176,284	169,233	4
	原単位	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	507	487	4
一般廃棄物排出量	kg	241	231		4
産業廃棄物排出量	t	180	173		4
再資源化率	%	99	100		-
水使用量	m <sup>3</sup>	79	76		4
環境配慮型資材	件	全件	全件		-
環境配慮工事	件	全件	全件		-
社会貢献活動	回	12	12		-
グリーン購入率	%	47	45		-

・基準値は、毎年工事の規模や内容によって、燃料・資源・産業廃棄物の発生量に大きく偏りがあるため、受注が落ち込んだ平成30年を除外し、直近3ヶ年（平成29年、令和1年、令和2年）の実績平均を基準とする。

- ・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は四国電力実排出係数0.500kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。
- ・グリーン購入率(%)は事務用品購入金額に占めるグリーン商品購入金額を示す。
- ・環境配慮型資材・環境配慮工事は受注工事(元請)を対象とする。
- ・現場の水使用量は雨水等を利用している為、計上していない。
- ・社会貢献活動は事務所・現場の合同で行う。
- ・CO<sub>2</sub>排出量の原単位は売上高百万円当りの総排出量とする。
- ・再資源化率: 仮設工にて廃プラ(土のう袋等)の排出があるため99%としているが、100%を目指し施工する。





■ 中長期目標

( 3年先 )

【全社】

項目	単位	基準値	令和3年1月 から 令和3年12月	令和4年1月 から 令和4年12月	令和5年1月 から 令和5年12月	
			目標 (%)内は削減率	目標 (%)内は削減率	目標 (%)内は削減率	
電力使用量	kWh	21,871	20,996 (4%)	20,777 (5%)	20,777 (5%)	
化石燃料使用量						
軽油	ℓ	40,014	38,414 (4%)	38,014 (5%)	38,014 (5%)	
ガソリン	ℓ	27,247	26,157 (4%)	25,884 (5%)	25,884 (5%)	
灯油	ℓ	424	407 (4%)	403 (5%)	403 (5%)	
CO <sub>2</sub> 排出量	総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	176,284	169,233 (4%)	167,469 (5%)	167,469 (5%)
	原単位	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	507	487 (4%)	481 (5%)	481 (5%)
一般廃棄物排出量	kg	241	231 (4%)	229 (5%)	229 (5%)	
産業廃棄物排出量	t	180	173 (4%)	171 (5%)	171 (5%)	
再資源化率	%	96	100	100	100	
水使用量	m <sup>3</sup>	79	76 (4%)	75 (5%)	75 (5%)	
環境配慮型資材の利用	件	全件	全件	全件	全件	
環境配慮工事	件	全件	全件	全件	全件	
社会貢献活動	回	12	12	12	12	
グリーン購入率	%	47	45	55	55	



## 6. 環境経営計画

■ 環境経営計画 期間： 令和3年1月 ～ 令和3年12月

項目	具体的な取組内容	担当責任者		関連SDGs 
		事務所	現場	
二酸化炭素排出量の削減	建設機械・車両の燃料使用量の削減	松原和也	松原和也	 
	エコドライブの実施 不要なアイドリングの禁止 急発進・急加速運転の禁止 不要な荷物は積込んだままにしない			
	定期検査、作業開始前点検の実施			
	省エネ運転の推進 排出ガス対策型建設機械の使用			
電力使用量の削減	エアコン設定温度(冷房28℃暖房20℃)の徹底	小島史園	松原和也	 
	外出時・昼休み等不要な照明の消灯			
	ブラインドやカーテンの利用等による、熱の出入りの調整			
	PC1時間以上不使用時は電源オフによる待機電力の削減 軽装、重ね着等による冷暖房機器の使用抑制			
カーボンオフセット契約	高知県とカーボンオフセット契約をする			
水使用量の削減	水量調節による無駄な取水の防止	小島史園	松原和也	
	節水活動の推進			
	水道配管の漏水点検			
	雨水等の使用	---		
産業廃棄物排出量の削減	建設副産物のリサイクル推進	小島史園	松原和也 作業所長	  
	マニフェストに基づき適正に処理			
	廃棄物を分別しリサイクル率を向上			
一般廃棄物排出量の削減	ゴミの分別徹底	小島史園	松原和也	
	マイバッグの使用			
	コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確立し、リサイクルを図る			
	不要裏紙の再使用			
	コピー用紙の両面使用			
グリーン購入の推進	エコラベル商品・特定調達品目の優先購入	小島史園		
環境配慮型資材	環境に配慮した製品の使用促進	---	松原和也 作業所長	 
	県内産資材を優先的に活用			
環境配慮工事	低騒音、低振動型機械の使用徹底	---	松原和也 作業所長	   
	環境配慮工法の協議・提案・施工			
	環境配慮工事チェックシートの工事着手前の検討			
	再生資源の利用			
社会貢献活動の実施	事務所及び現場周辺の美化活動	小島史園	松原和也	 
	ロードボランティア活動への参加			
環境・教育訓練の実施	環境教育実施訓練計画を立て社員に向け環境に関する環境教育を実施する。	小島史園	松原和也	

## 7. 環境経営目標の実績

### ■ 1年間の実績及び目標達成状況

【全社】

項目	単位	令和3年度		達成率	目標達成状況	
		目標	実績			
		令和3年1月～令和3年12月	令和3年1月～令和3年12月			
電力使用量	kWh	20,996	17,186	122%	○	
化石燃料使用量						
軽油	ℓ	38,414	41,175	93%	△	
ガソリン	ℓ	26,157	23,151	113%	○	
灯油	ℓ	407	699	58%	×	
CO <sub>2</sub> 排出量	総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	171,303	170,275	101%	○
	原単位	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	487	340	143%	○
一般廃棄物排出量	kg		231	127	183%	○
産業廃棄物排出量	t		173	806	22%	×
再資源化率	%		100	99.6	100%	△
環境配慮型資材	件	全件	16 件中 16 件	100%	○	
環境配慮工事	件	全件	16 件中 16 件	100%	○	
社会貢献活動	回		12	12	100%	○
カーボンオフセット購入量	kg-CO <sub>2</sub>		9000	5,000	56%	×
水使用量	m <sup>3</sup>		112	23	487%	○
グリーン購入率	%		45	45	100%	○

【全社】

CO <sub>2</sub> 排出量	総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	171,303	170,275	101%	○
	原単位	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	487	340	143%	○
全社CO <sub>2</sub> 総排出量 = (CO <sub>2</sub> 排出量 - カーボンオフセット購入量)	総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	162,303	165,275	98%	△
	原単位	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	434	330	132%	○

・CO<sub>2</sub>排出量の原単位は売上高百万円当りの総排出量とする。

※ 環境目標の達成状況

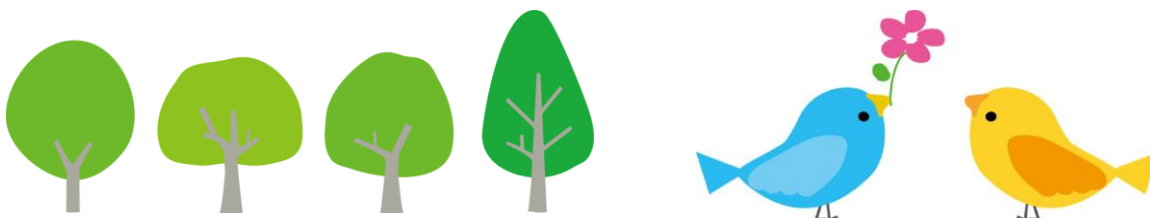
達成率=(目標)÷(実績)×100

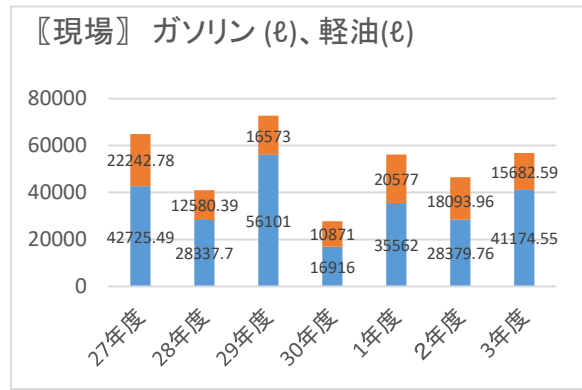
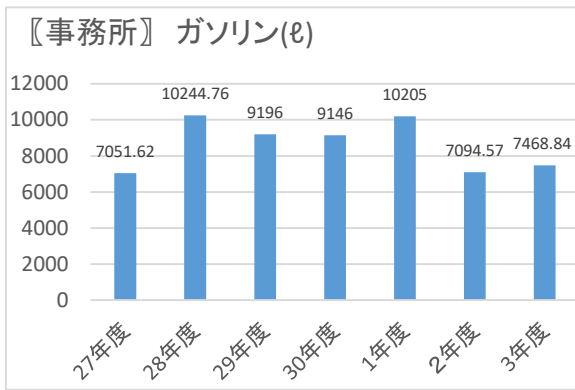
○: 達成率≥100% △: 100>達成率≥90% ×: 達成率<90%

売上高 (対象年度)	令和3年度	501 百万円
---------------	-------	---------

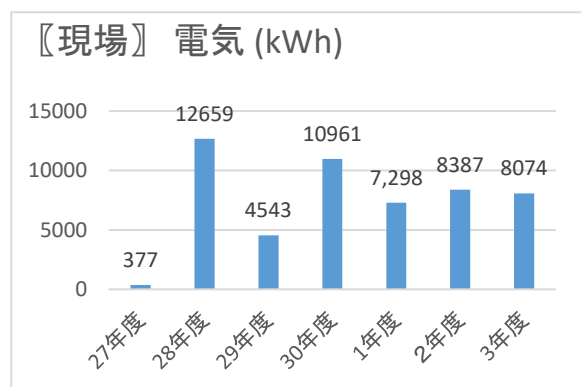
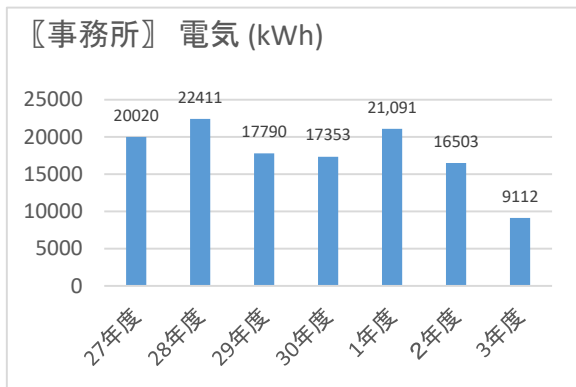
環境目標の実績評価と達成できなかった理由

- 前年より現場事務所の設置が少なかったため、電気使用量が減り、さらに本社のエアコンを変えた効果が見られた。
- 化石燃料使用量: 遠方の現場が多く、尚且つ、産廃や土の運び出しが多くダンプを使用したため、軽油の使用量が増えた。
- CO<sub>2</sub>排出量: 軽油、灯油の使用量は増加したが、ガソリンの使用量と電気使用量を削減でき、目標は達成できた。
- 水使用量: 雨水貯留水等を利用している。
- 一般廃棄物排出量: 再使用、分別等の活動は行っている。
- 産業廃棄物排出量: 分別は徹底して行っているが、前年度より、既存の構造物を取り壊して施工する工事が多かったため未達成。
- 産業廃棄物排出量: 分別は徹底して行っているが、廃プラスチックの最終処分に関係により未達成。
- グリーン購入率: 目標は達成でき、引き続き意識もした取り組みが出来ている。  
文具OA機器等の高額商品では高機能や低価格を優先する傾向がある。
- 社会貢献活動: ロードボランティアを年12回、その他に、工事地域での活動を適宜行いを実施。本社事務所でも周辺のゴミ拾いをした。
- カーボンオフセット契約: 高知県との間で1件、5tの契約を行った。  
そのため、CO<sub>2</sub>排出量は165tとなり、削減できた。また、原単位についても削減できた。



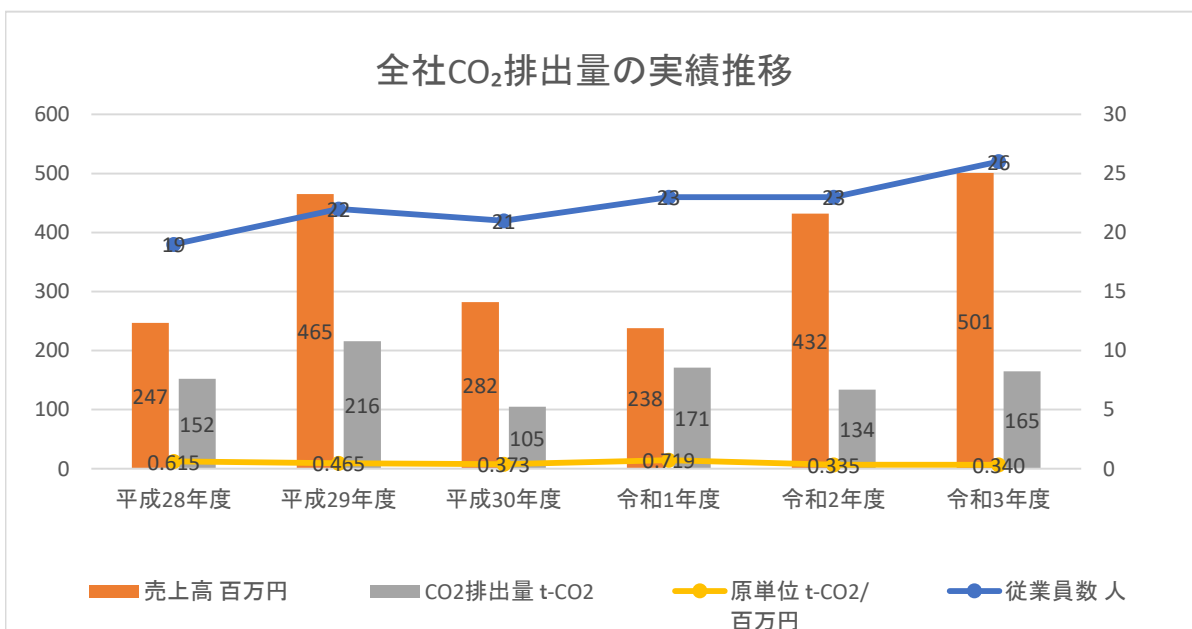


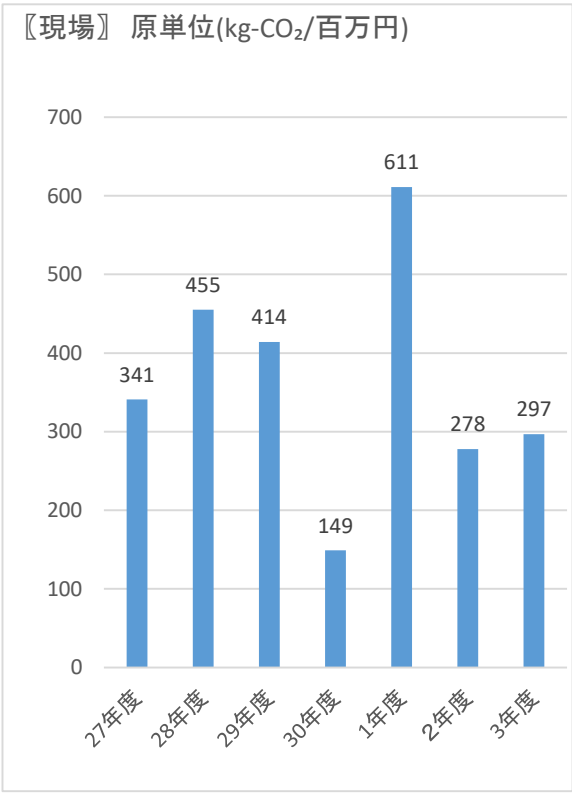
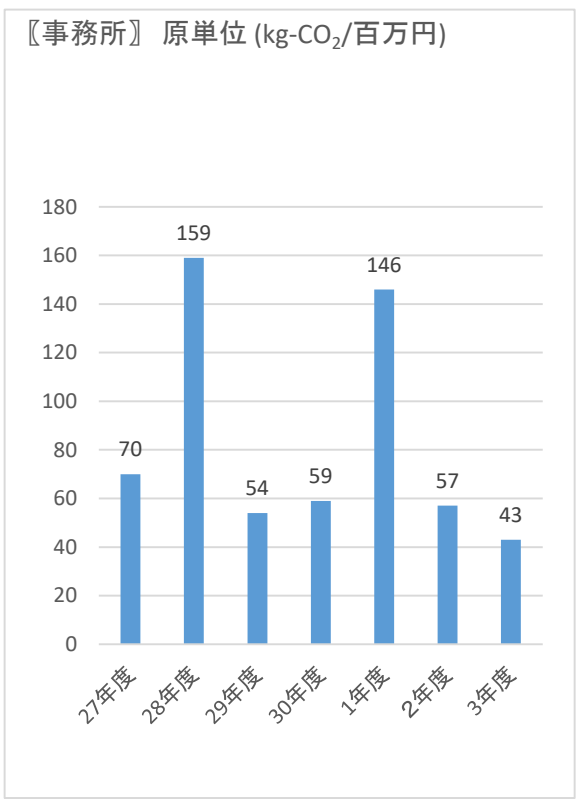
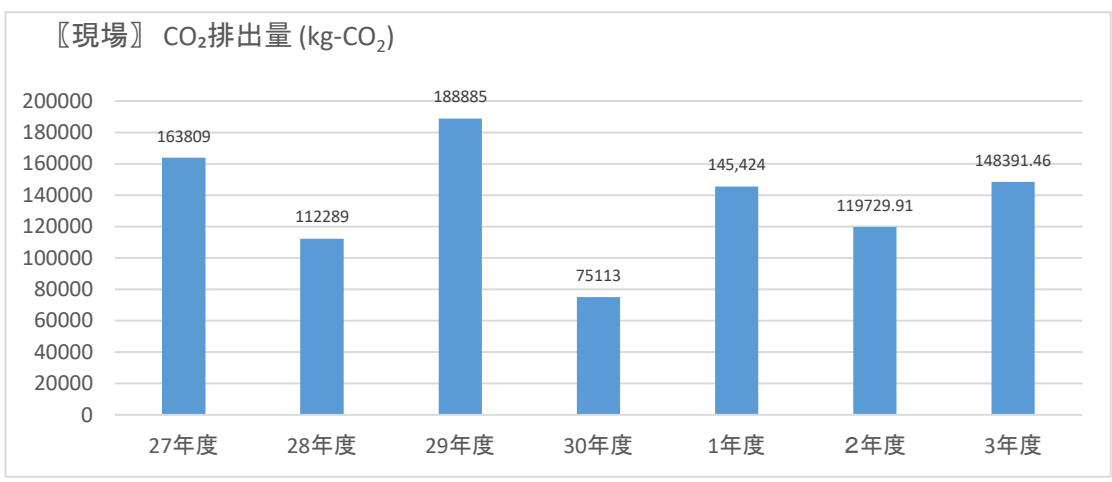
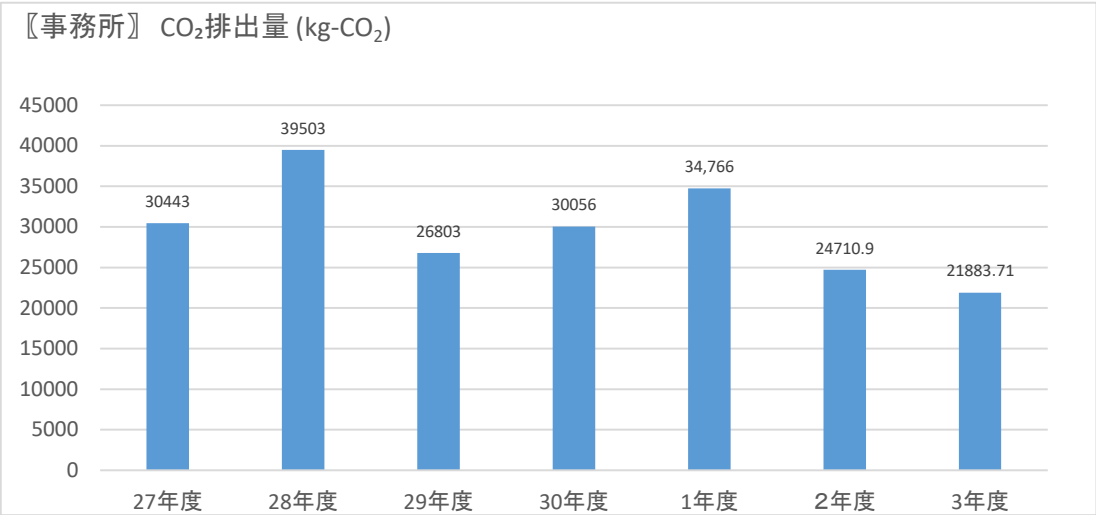
ガソリン 軽油



全社CO<sub>2</sub>排出量の実績推移(CO<sub>2</sub>排出量はカーボンオフセットを考慮していない)

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
売上高	百万円	247	465	282	238	432	501
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	152	216	105	171	134	165
原単位	t-CO <sub>2</sub> /百万円	0.615	0.465	0.373	0.719	0.335	0.340
従業員数	人	19	22	21	23	23	26





## 8. 環境経営計画の取組結果とその評価

### ■ 環境経営計画の取組結果とその評価

期間: 令和3年1月～令和3年12月

〔事務所〕

項目	担当 責任者	活動内容	取組結果	評 価	今後の方向性
二酸化炭素排出量の削減	松原和也	エコドライブの実施  unnecessaryアイドリングの禁止  急発進・急加速運転の禁止  不要な荷物は積込んだままにしない  省エネ運転の推進	エコ運転が身に付いてきている。  時間に余裕を持った行動をとるよう心がけた。	○          ○	エコドライブ10のすすめを遵守する  継続する      継続する
		電力使用量の削減	小島史園	エアコン設定温度(冷房28℃暖房20℃)の徹底  外出時・昼休み等不要な照明の消灯  PC1時間以上の不使用時は電源オフによる待機電力の削減  ブラインドやカーテンの利用等による、熱の出入りの調整  軽装、重ね着等による冷暖房機器の使用抑制	ステッカー等による呼びかけにより節電への意識高揚を図った。外出時等の不要照明の消灯等取組めた。  PCの設定による、電源OFF機能等の活用、不使用時の主電源OFF等徹底できた。  ブラインドを使うことを意識してできた。  夏場はクールビズ、冬場はひざ掛けを使う等、冷暖房機器の使用抑制に取り組んだ。
水使用量の削減	小島史園	水量調節による無駄な取水の防止  節水活動の推進  水道配管の漏水点検	調整コマにより水圧を下げ水量調節を行った。  節水呼びかけのステッカー等の貼付けにより取組めた。  水道配管の点検を実施した結果、漏水はなかった。	○  ○  ○	継続する  継続する  継続する
一般廃棄物排出量の削減	小島史園	ゴミの分別徹底  マイバックの使用  コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図る  不要裏紙の再使用  コピー用紙の両面使用	裏面活用を行うことを意識し、目につくところに裏紙を置いた。  マイバックの使用を意識し、取り組めた。  トナーカートリッジは業者と提携し、リサイクルできるようにした。  コピー用紙の両面使用については、意識して使用できた。  不要裏紙はメモ用紙にするなど再使用を意識した。	○  ○  ○  ○  ○	継続する  さらに習慣づくよう継続する。  継続する  継続する  定例会で周知徹底する  継続する  定例会で周知徹底する
グリーン購入の推進	小島史園	エコラベル商品・特定調達品目の優先購入	事務用品の購買でエコ商品を優先的に購入した。(ファイル・紙類等)OA機器等の高額商品について高機能・低価格商品を優先	○	継続する  日頃使用する文具、紙類を対象に実施する。定例会で周知徹底する
社会貢献活動の実施	小島史園	事務所及び現場周辺の美化活動  ロードボランティア活動への参加	道路清掃、現場周辺の清掃活動を実施。本社周辺、倉庫周辺のゴミ拾いも行った。	○	継続する

※取組結果の評価

○: 取組ができている    △: 取組が不十分、さらに取組が必要

×: 取組ができていない

■ 環境経営計画の取組結果とその評価

期間: 令和3年1月～令和3年12月

〔現場〕

項目	担当 責任者	活動内容	取組結果	評価	今後の方向性
二酸化炭素排出量の削減	建設機械・車両の使用燃料の削減 松原和也	エコドライブの実施	呼びかけは出来ていたが、体調管理の面から、夏冬エンジンをかけ車両で休息する姿をみかけた。	△	継続する 作業員の体調管理面でインフラ整備を検討する。定例会で周知徹底する
		不必要なアイドリングの禁止 急発進・急加速運転の禁止 不要な荷物は積込んだままにしない 定期検査、作業開始前点検の実施 省エネ運転の推進 排出ガス対策型建設機械の使用 積極的なカーボンオフセットの購入	車両、機械の始業前点検等を徹底し取組めた。時間に余裕を持った行動をとるよう心がけた。 排ガス対策型建設機械の使用は、協力業者への呼びかけも行い、対応機種は全車対策型機械を使用した。 エアコンの設定温度は意識は出来ているが不十分な面もあるので、引き続き取り組んでいく。 久保浦復旧治山工事復旧工事(5t-CO <sub>2</sub> )を購入した。	○	継続する
電力使用量の削減	松原和也	エアコン設定温度(冷房28℃暖房20℃)の徹底	夏・冬のエアコン設定温度に気を付けるようになったが、体調管理面で守れない時もあった。	△	継続する 定例会で周知徹底する
		外出時・昼休み等不要な照明の消灯 ブランインドやカーテンの利用等による、熱の出入りの調整 PC1時間以上の不使用時は電源オフによる待機電力の削減	照明の消灯については、外出等行う際に、こまめに確認し取組めた。 現場事務所にはカーテンを設置したり、緑のカーテンを作った。 PCについては設定でエコモード等による待機電力の削減に努めた。	○	さらに習慣づくよう継続する
水使用量の削減	松原和也	現場近くの自然水の使用	自然水等を貯水し使用している。	○	継続する
産業廃棄物排出量の削減	松原和也 作業所長	建設副産物のリサイクルの推進	マニフェストによる管理を徹底した。	○	継続する
		マニフェストに基づき適正に処理 廃棄物を分別しリサイクル率を向上	適正に処理できている 廃棄物の分別は徹底して出来ている。廃プラ以外は全てリサイクル出来た。	○	継続する
環境配慮型資材	松原和也 作業所長	環境に配慮した製品の使用促進	再生資材、県内産資材等を優先的に使用した。	○	継続する
		県内産資材を優先的に活用	エラストイト、環境ブロック、県産木材による型枠、植生基材、木材、割石等	○	継続する
環境配慮工事	松原和也 作業所長	低騒音、低振動型機械の使用徹底		○	継続する
		環境配慮工事の協議・提案・施工 環境配慮工事チェックシートの工事着手前の検討 再生資源の利用	各工事現場において積極的に取組んでいる。 ハックホウ、ラフタークレーン、振動ローラー、発動発電機等の排ガス対策型建設機械の使用、濁水対策として、コンクリートの打継面処理剤(トライテックスCB-20)、汚濁防止フェンスの使用 再生砕石、再生As合材等再生材料の使用	○	継続する
社会貢献活動の実施	松原和也	事務所及び現場周辺の美化活動	道路清掃、現場周辺の清掃活動を実施	○	継続する
		ロードボランティア活動への参加		○	継続する

※取組結果の評価

○: 取組ができています △: 取組が不十分、さらに取組が必要

×: 取組ができていない

## 9. 次年度の取組内容と環境経営目標

### ■ 環境経営計画 令和4年度

項目	具体的な取組内容	担当責任者		関連SDGs 
		事務所	現場	
二酸化炭素排出量の削減	建設機械・車両の燃料使用量の削減	松原和也	松原和也	 
	エコドライブの実施 不必要なアイドリングの禁止 急発進・急加速運転の禁止 不要な荷物は積込んだままにしない			
	定期検査、作業開始前点検の実施			
	省エネ運転の推進			
	排出ガス対策型建設機械の使用	小島史園	松原和也	 
	エアコン設定温度(冷房28℃暖房20℃)の徹底			
	外出時・昼休み等不要な照明の消灯			
電力使用量の削減	ブラインドやカーテンの利用等による、熱の出入りの調整	小島史園	松原和也	 
PC1時間以上不使用时は電源オフによる待機電力の削減				
軽装、重ね着等による冷暖房機器の使用抑制				
カーボンオフセット契約	高知県とカーボンオフセット契約をする			
水使用量の削減	水量調節による無駄な取水の防止	小島史園	松原和也	
	節水活動の推進			
	水道配管の漏水点検			
	雨水等の使用	---		
産業廃棄物排出量の削減	建設副産物のリサイクル推進	小島史園	松原和也 作業所長	  
	マニフェストに基づき適正に処理			
	廃棄物を分別しリサイクル率を向上			
一般廃棄物排出量の削減	ゴミの分別徹底	小島史園	松原和也	
	マイバッグの使用			
	コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図る			
	不要裏紙の再使用			
	コピー用紙の両面使用			
グリーン購入の推進	エコラベル商品・特定調達品目の優先購入	小島史園		
環境配慮型資材	環境に配慮した製品の使用促進	---	松原和也 作業所長	 
	県内産資材を優先的に活用			
環境配慮工事	低騒音、低振動型機械の使用徹底	---	松原和也 作業所長	   
	環境配慮工法の協議・提案・施工			
	環境配慮工事チェックシートの工事着手前の検討			
	再生資源の利用			
社会貢献活動の実施	事務所及び現場周辺の美化活動	小島史園	松原和也	 
	ロードボランティア活動への参加			
環境・教育訓練の実施	環境教育実施訓練計画を立て社員に向け環境に関する環境教育を実施する。	小島史園	松原和也	
	SDGsを意識したエコアクションを行う	小島史園		



(2)環境経営目標

中期目標

令和4年度の環境経営目標値の設定(全社)

毎年度:1月から12月

項目	単位	平成29年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	基準値 (3年間平均値)	目標値		
						令和4年度	令和5年度	令和6年度
電気使用量	kWh	12,333	24,890	17,186	18,136	17,411	17,230	17,230
化石燃料使用量								
ガソリン	L	25,769	25,189	23,151	24,703	23,715	23,468	23,468
軽油	L	56,101	28,380	41,175	41,885	40,210	39,791	39,791
灯油	L	0	136	699	278	267	264	264
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	215,688	133,441	165,275	171,468	164,609	162,895	162,895
CO <sub>2</sub> 排出量原単位	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	473	309	330	371	356	352	352
水使用量	m <sup>3</sup>	85	47	23	52	50	49	49
一般廃棄物排出量	kg	460	123	127	237	227	225	225
産業廃棄物排出量	t	45	411	806	421	404	400	400
産業廃棄物排出再資源化率	%	98	92	99.6	97	100	100	100
グリーン購入量	%	30	45	45	40	50	55	55
環境配慮型資材の利用	件	15	16	16	全件	全件	全件	全件
環境配慮工事	件	15	16	16	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動	回	12	12	12	12	12	12	12
カーボンオフセット購入量	kg-CO <sub>2</sub>	0	10000	5000	-	5000	5000	5000

①基準値は、毎年工事の規模や内容によって、燃料・資源・産業廃棄物の発生量に大きく偏りがあるため、受注が落ち込んだ平成30年度、令和元年度を除外し、直近3ヶ年(平成29年、令和2年、令和3年)の実績平均を基準とする。

②電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、0.5kg-CO<sub>2</sub>/kWh

③令和2年度CO<sub>2</sub>排出量は、カーボンオフセット購入10000kg-CO<sub>2</sub>を引いた値である。

④令和3年度CO<sub>2</sub>排出量は、カーボンオフセット購入5000kg-CO<sub>2</sub>を引いた値である。

⑤CO<sub>2</sub>排出量原単位の売上高は平成29年度 456百万円、令和2年度 432百万、令和3年度 501百万。

⑥削減率は、基準値に対して、令和3年度は削減率 4%、令和4年度は削減率 5%、令和5年度 5% とする。

⑦産業廃棄物排出再資源化率は、100%を目標とする。

⑧カーボンオフセット購入は令和3年度の実績を目標値とする。



## 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### ■ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規・条例・規制	内 容	確 認 項 目	評 価	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	第3条	適正処理・再生利用、分別	実施記録(写真等)	○
	第11条	産業廃棄物の処理	マニフェストの管理状況	○
	第12条	運搬及び処分、委託	委託契約書・許可証	○
	第12条 第9・10・11項	多量排出業者の届出等	報告書	該当なし
	第12条/3	産業廃棄物管理票の交付、保存 交付状況報告書の作成及び提出	マニフェストの管理状況 交付状況報告書	○
	第8条 施行規則	保管する廃棄物の種類等の表示	看板設置(60cm×60cm以上)・飛散、 漏洩対策実施状況確認	○
	第7条/2/2	車両を用いて産業廃棄物を 運搬する場合の表示	使用車両への表示状況、携帯	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第9条	分別解体等の実施義務	実施記録・マニフェスト	○
	第10条	対象建設工事の届出等	説明書	○
	第12条	届出事項の説明等	通知書・契約書	○
	第16条	再資源化等の実施義務	マニフェスト	○
資源の有効な利用の促進に関する法律 (リサイクル法)	第4条	指定副産物の発生を抑制、再利用、 再生利用、再資源化	CREDAS作成記録	○
再生資源利用省令		建設工事等における指定副産物 に係る再生資源の利用を促進	CREDAS作成記録	○
指定副産物利用促進省令		指定副産物に係る搬出量と再資源 化施設への搬出量等計画の作成	CREDAS作成記録	○
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	対象作業の確認・届出書	該当なし
	第15条 第1項関連	騒音の基準	測定記録	該当なし
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	対象作業の確認・届出書	該当なし
	第15条 第1項関連	騒音の基準	測定記録	該当なし
浄化槽法	第8条	専門業者に委託し、保守点検	点検簿	○
	第9条	専門業者に委託し、清掃	報告書	○
	第11条	指定検査機関における水質に関する 検査の実施	報告書	○

排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定		協力会社持込建設機械を含め、適合を確認	適合証明、ステッカー	○
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)		協力会社持込建設機械を含め、適合を確認	適合証明、ステッカー	○
低騒音・低振動型建設機械の普及促進に関する規定		協力会社持込建設機械を含め、適合を確認	適合証明、ステッカー	○
火薬類取締法	第11条 第25条	火薬類の貯蔵・消費・届出等	帳簿、届出書	該当なし
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)		環境物品等の調達の推進	エコマーク等	○
フロン排出抑制法	第5条	第1種特定製品(エアコン)の管理者は3か月に1回以上簡易点検を実施し記録する。	点検簿	○
高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例(四万十川条例)	第7条	四万十川の保全及び地域振興	記録簿等	該当なし
	第13~16条	重点地域における行為の制限等	許可証	該当なし
	第28条	産業廃棄物の減量及び資源の循環的利用	CREDAS作成記録	○
河川法	第26.27条	工作物の新築・土地の掘削等の許可	許可書	該当なし
	施行令第16条/5	1日につき50m <sup>3</sup> 以上の汚水又は廃水を排出する場合の届出	届出書	該当なし
水質汚濁防止法	第14条/2	事故時の措置 措置内容(事故状況・講じた措置内容)の届出	届出書	該当なし
消防法	第9条/4	少量危険物の貯蔵・取扱いの基準、届出等	貯蔵・取扱管理記録、届出書	該当なし
労働安全衛生法	第5条	共同企業体代表者の届出	届出書	該当なし
	第65条 第65条/2	作業環境測定を行い記録する。	記録簿等	該当なし
	第88条	計画の届出等	計画書、報告書の届出	○
		石綿障害予防規則の遵守	計画書、作業届	該当なし
大気汚染防止法	第18条17.1	調査を行い、書面を交付し、説明する。	調査書	該当なし

(2) 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

令和3年1月1日から令和3年12月31日迄、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。



## 11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

### (1) 環境目標達成状況について

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| ① 電力使用量の削減              | 本年は昨年よりも、電気の使用量は減った。さらに、昨年、本社に導入した、省エネエアコンで本社の電力使用量が大幅に削減され、目標が達成できた。現場事務所では新たに、グリーンカーテンの取り組みを実施した。エコアクションを続けている為、節電への取組みが日頃より行われ削減努力はできている。引き続き取組んでいく。   |
| ② 化石燃料使用量の削減            | 遠距離の現場が多く、尚且つ、土の運び出しや、産廃の運び出しが多く、ダンプ等の軽油を使用する機会が増え、軽油の使用量が増えた。しかし、乗り合わせることや、従業員の努力もあり、ガソリンの使用量は減った。昨年に引き続き、感染症対策の観点から、休憩所の密を避けるため、車等での休憩があった。アイドリングやエアコンの温度調整等も気を付けるようにはなっているが、課題として残っているので引き続き周知し、感染症対策と並行して取り組んでいく。 |
| ③ CO <sub>2</sub> 排出量削減 | 会社全体を通して、削減への取組みは行われた。総排出量も目標達成した。本年は昨年よりも売上が上がり、目標は達成出来た。売上に左右される数値である為、毎年目標値の見直しを検討する。  |
| ④ 水使用量の削減               | 目標は達成できた。節水の心掛けが定着している。引き続き、啓発ステッカー貼付け、使用者への呼びかけを行う等で、節水活動への意識向上と削減に取り組んでいく。  |
| ⑤ 一般廃棄物排出量の削減           | 不要紙の再利用、両面コピー等の活動が定着してきている。エコバックの使用や、引き続き取り組んでいく。   |
| ⑥ 産業廃棄物排出量の削減           | 本年は、災害復旧工事や、既存の構造物を取り壊して施工する工事が多かった為、目標は達成できなかった。排出量は、工事の内容に大きく起因するもので、基準値との比較は難しい。引き続き現場管理を徹底していく。   |
| ⑦ グリーン購入の推進             | 目標は達成でき、エコ商品の購入意識を高く持てるようになってきている。文具OA機器等物品の対象品選別を行い、さらに習慣づこう引き続き取組んでいく。  |
| ⑧ 環境配慮型資材               | 全工事で、県産材、再生砕石等再生資材及び環境ブロック等環境に配慮した製品の活用が積極的に行われている。さらなる取組を継続して行う。   |
| ⑨ 環境配慮工事                | 全工事で、周囲の環境に配慮した低騒音型・排出ガス対策型の建設機械等の選定、汚濁防止フェンスによる汚濁防止対策等環境に配慮した施工計画がなされ実施している。さらなる取組を行う。   |
| ⑩ 社会貢献活動                | 社員参加のボランティア活動に取組んでいる。引き続き実施していく。  |

### (2) 環境活動取組の実施状況について

達成に向けて努力はされているが、まだ改善の余地がある。昨年に引き続き、感染症対策を行いながらの活動が続いている。withコロナで、今後もさらなる環境に配慮した事業活動を推進していきたい。

### (3) 環境関連法規等の遵守について

遵守できた。法規制等の改定に関する情報を毎年1回(1月)・ホームページ(環境省・高知県・宿毛市等)で確認し改定があれば修正する。

### (4) 実施体制の変更の必要性

実施体制の変更はない

### (5) 前回指示事項に対する対応

SDGsを含め、環境経営目標及び、環境経営計画に基づいて、活動を強化し、定例会で周知徹底を促した。

### (6) 改善事項

目標値の未達成項目については、内容を分析して、目標値の見直しを検討する。

### (7) 総合評価及び見直し指示

本年はSDGsを意識する年として取り組みを始め、環境経営方針に基づいた環境経営目標達成を目指した活動を行ってきた。従業員一同、CO<sub>2</sub>排出量の削減等環境活動への参加、取組が定着してきている。建設業においては、毎年工事の規模、内容によって燃料・資源・産業廃棄物の発生量に大きく偏りがあるため、評価は行い難いものであるが、今後も、環境活動を通して従業員の意識向上を図り削減目標達成を目指していく。

今後さらなる取組を継続していく中で、SDGsについての意識を深め、評価の向上に期待したい。

昨年に引き続き、感染症対策の事もあり、訓練等、集まることができなかったところもあったが、全従業員で考えながら環境活動に取り組んできた。引き続きしっかりと取り組んでいきたい。



令和4年2月25日

株式会社 小島組

代表取締役

小島 幸年

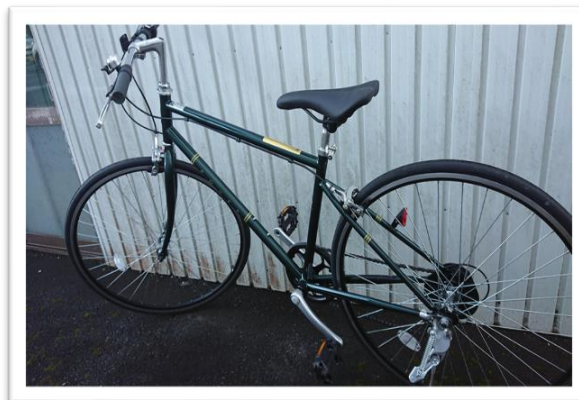
## 12. 環境活動等

### ■ 活動実績及び取組内容

#### CO<sub>2</sub>排出量の削減



災害時にも使用可能なノーパンクタイヤの自転車を導入  
近距離移動用に本社にて活躍中！



#### 建設機械・車両の使用燃料の削減

工事車両 アイドリングストップ



建設機械 アイドリングストップ



建設機械 排ガス対策型機械使用



## 廃棄物排出量の削減

ミスプリント裏面使用の促進



分別かごを設置（現場）



4種混合ゴミ箱を設置（現場）



分別かごを設置（車両置場）



水使用量の削減



環境配慮工事・資材の使用

安満地福良線 防災・安全交付金工事（ポット苗植栽工） エコ商品の使用



木製型枠（県産材）の使用

工事看板(木製：高知県産材使用)



## 社会貢献活動の実施

道路ボランティア、現場周辺の美化活動の実施



## 緊急時対応訓練

風水害対応訓練実施状況 (令和3年10月12日)

大型土のう作成



緊急時連絡先の確認



緊急時資材

現場



本社





## 地震・火災訓練実施状況

### 災害発生後の避難からの点呼

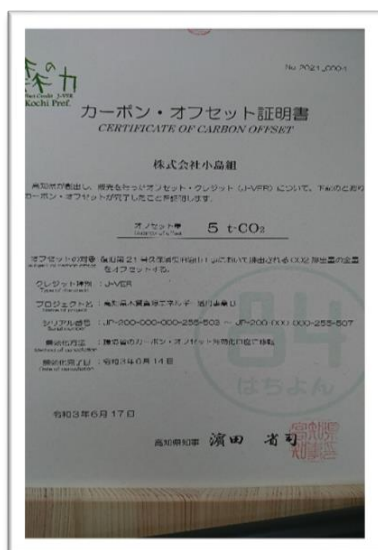


### 災害状況確認（ドローン）



## その他の取り組み

### 高知県とのカーボンオフセットクレジット契約



### 復旧第21号 久保浦復旧治山工事

令和3年6月14日 無効化完了

年間、1000kg-CO<sub>2</sub>、もしくは、年間1件以上のカーボンオフセット契約を目標にしています。

## 教育訓練



昨年に引き続き、現場でも、withコロナで、感染症対策をしながら、教育訓練や現場作業を行っています。

集まるときにはマスク着用、なるべく室内ではなく、3密を避けて屋外で行っています。

マスク着用は熱中症のリスクも高まるので、熱中症対策にも気を配りながらの作業を、現場責任者が中心となって、みんなで取り組んでいます。

## 13.その他

### ■SDGsってなに？

SDGsは、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、2015年9月に国連で採択されました。貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっていて、17のゴール（目標）とそれぞれの下により具体的な169項目のターゲット（達成基準）があります。

環境省 持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド [第0版]（本編）引用

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



我が社では、令和3年度より、SDGsを意識したエコアクション活動を行う。

### 我が社で特に意識するSDGs



建設業として、事業活動に伴う環境への負荷を削減していくために取り組んでいく。

## SDGs関連活動

### 社会貢献活動

#### ・ロードボランティア

「高知県ふれあいの道づくり支援事業」で、実施区間、内容を決めた後、土木事務所・事務所へロードボランティアとしての認定の希望を伝え、道路管理者と合意書を交わし、清掃、植樹管理などを行う。

- ・活動箇所…日平～笹平
- ・活動内容…ゴミ収集、カン拾い



#### ・清掃活動

事務では、会社周辺のゴミ拾いを行ったり、自社倉庫までの間を歩きながらゴミ拾いをしています。



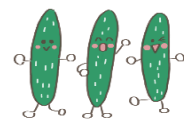
#### ・環境への配慮



現場事務所にグリーンカーテンを設置しました。  
環境にもやさしく、おいしいお野菜も出来るグリーンカーテン！！

緑のカーテンとは、つる性の植物を育て、窓辺や壁面にカーテンを作ることによって、夏の日差しを和らげ、室内の温度上昇を抑え、エアコンの使用を最小限にすることができる自然のカーテンのことです。

#### きゅうりのグリーンカーテン



## 従業員の健康を守る

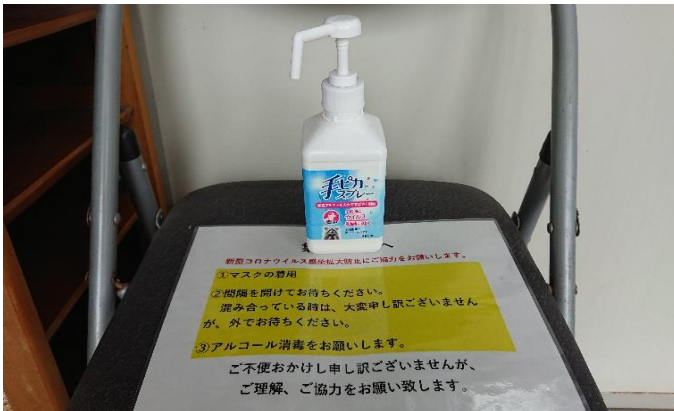
3 すべての人に  
健康と福祉を



- ・ 感染症対策（マスク着用・アルコール消毒・手洗い・換気・次亜塩素酸水の噴霧など）
- ・ 熱中症対策（経口補水液・塩飴やタブレットの設置・空調服配布など）
- ・ 年に一度の健康診断

### ・ 感染症対策への取り組み

2021年も引き続き、感染症対策を行いました。従業員ひとりひとりが意識し、みんなでコロナ禍を乗り越えています！！



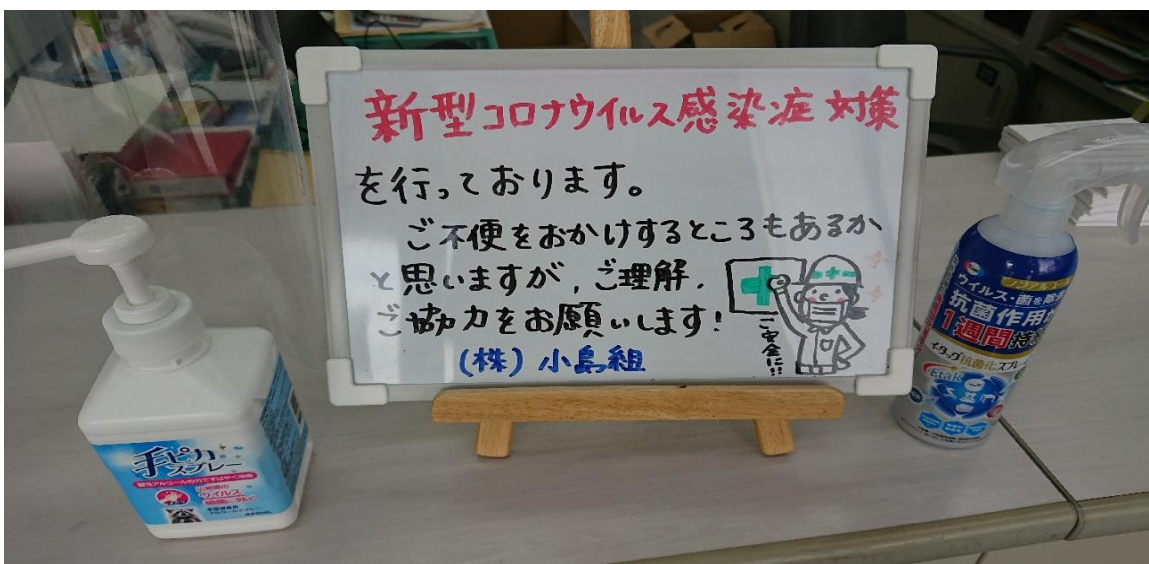
アルコール消毒・マスクは忘れずに！

来社の方へもご協力をお願いしています。



カウンターには手作りのパーティションを設置しました。

本社は、2人なので、なるべく違う場所で業務を行っています。



## 現場

アルコール消毒や、次亜塩素酸水の噴霧、こまめな換気を意識！



現場でも手洗いを！！

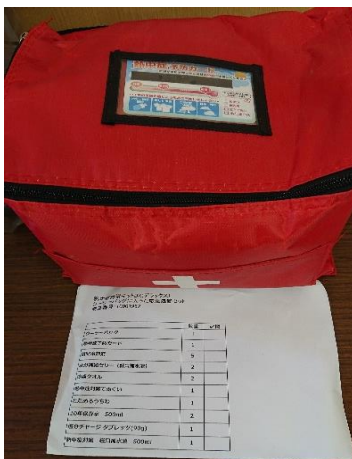


## ・熱中症対策

毎年夏場は厳しい暑さとなりますが、コロナ禍での生活様式にマスクは欠かせません。しかし、マスクを着用していると熱中症のリスクがあることも事実です。

我が社では、マスクを外して作業する際は、適切な距離を取るなどに、気を付けています。

各現場事務所へは、経口補水液、熱中症対策飴やタブレット、熱中症対策キットを設置しています。さらに、従業員ひとりひとりにファン付きベストの配布をしました。涼しいと好評です。



熱中症対策キット  
瞬間冷却材や、水分補給ゼリー  
など、セットになったバックです。

水分補給もお忘れなく！



# 地域貢献活動

15 陸の豊かさも  
守ろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



## 山田区への協力

地域の方が行っている、稲刈り後の田んぼへコスモスを植える取り組みに我が社も協力しました。  
倉庫の隣にある、耕作放棄地（使われていない田畑）となっている田んぼへコスモスの種を蒔きました。



2021年9月6日(月)

山奈町山田の倉庫横の田んぼへ、コスモスの種を蒔きました。  
どんな風に咲くのか楽しみです♪



2021年10月19日(火)

ちらほらと花が咲いてきました。  
もう少しでたくさんの花が見られそうです。



2021年11月15日(月)

たくさん咲きました！！  
近くの方も見に来てくださっていました。皆さんに楽しんでいただけると嬉しいです♪



## 日本赤十字への寄付活動



我が社では、法人登記をしたころより、毎年欠かさず日本赤十字への寄付活動を行っています。

日本赤十字は、災害時の被災者看護や、感染症予防対策防止への対応、防災や減災の復旧啓発やボランティア育成など、いのちを救う様々な活動をされています。



現場の方はなかなか調整が難しくできていませんが、本社事務ではできる限り、献血活動を行っています！



## 交通エコポイント活用社会還元事業「ですかでゴー」への寄付活動



高知県地球温暖化防止県民会議部会では、高知県内の小学生を対象に、校外活動等で移動の際に使用できるよう、運賃相当金額チャージ済みのICカード「ですか」を無料で貸し出しています。

その活動を支援する寄付活動を継続して行っており、令和2年には、5年間の継続表彰をいただきました。

これからも活動の支援を続けていきたいと思ひます。

●電車に1km乗車した場合、約0.152kgのCO<sub>2</sub>削減 (※)


●バスに1km乗車した場合、約0.094kgのCO<sub>2</sub>削減 (※)



これだけのCO<sub>2</sub>が削減できます！！



1万ポイント寄付   
R3年5月

5年間の継続表彰   
R2年

